



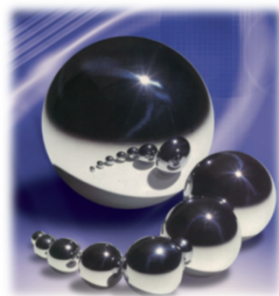
# 2018年12月期 第1四半期決算説明資料

2018年5月15日  
株式会社ツバキ・ナカシマ  
(東証一部 6464)



## 目次

1. 2018年12月期第1四半期実績 ..... P2



### 「一球一心」

一つの球に一つの誠心、愛情をこめて鋼球を作り上げること。



### 「一精一誠」

誠は真心であり、精は精密・精神を意味する。仕事に真心を打ち込んで、魂のこもった精密で優れた製品を作り上げること。



# 1. 2018年12月期第1四半期実績



# 2018年12月期第1四半期決算ハイライト

旧PBC事業との統合が進捗し、売上収益、営業利益ともに過去最高を更新

## 売上面

- 売上収益は195億円と過去最高を更新(前年同期比93.6%増)

## 収益面

- 営業利益も29億円と過去最高を更新(前年同期比70.9%増)

## キャッシュ面

- 継続的なバランスシートマネジメントにより一時費用を除いたフリーキャッシュフロー6.2億円を創出

## 配当予想

- 年初予想通りの一株当たり年間79円・中間配当39円(対前年23.4%増)を予定



# 2018年12月期第1四半期連結業績

売上収益は為替換算影響を除き前年同期比91.4%増の195億円と過去最高を達成  
 営業利益も一時費用及び為替換算影響を除き前年同期比70.5%増の29億円と過去最高を達成

	2017年 1Q	2018年 1Q					(百万円)
	実績	実績 (※2)	一時費用	一時費用 調整後 実績	為替換算 影響	増減額 (※3)	増減比 (※3)
売上収益	10,065	19,490	—	19,490	228	9,197	91.4%
営業利益	1,705	2,914	▲29	2,943	36	1,202	70.5%
EBITDA	2,105	3,671	▲29	3,700	46	1,549	73.6%
税引前当期利益	1,359	2,523	▲29	2,552	90	1,103	81.3%
当期利益(※1)	1,025	1,836	▲20	1,856	30	801	78.2%

(※1) “当期利益”は、“親会社の所有者に帰属する当期利益”を記載しております。

(※2) 旧PBC事業部業績として、売上収益 8,634百万円、営業利益 925百万円、EBITDA 1,286百万円、税引前当期利益 870百万円、当期利益 643百万円が含まれております。

(※3) “増減額”及び“増減比”は一時費用及び為替換算影響を除いております。

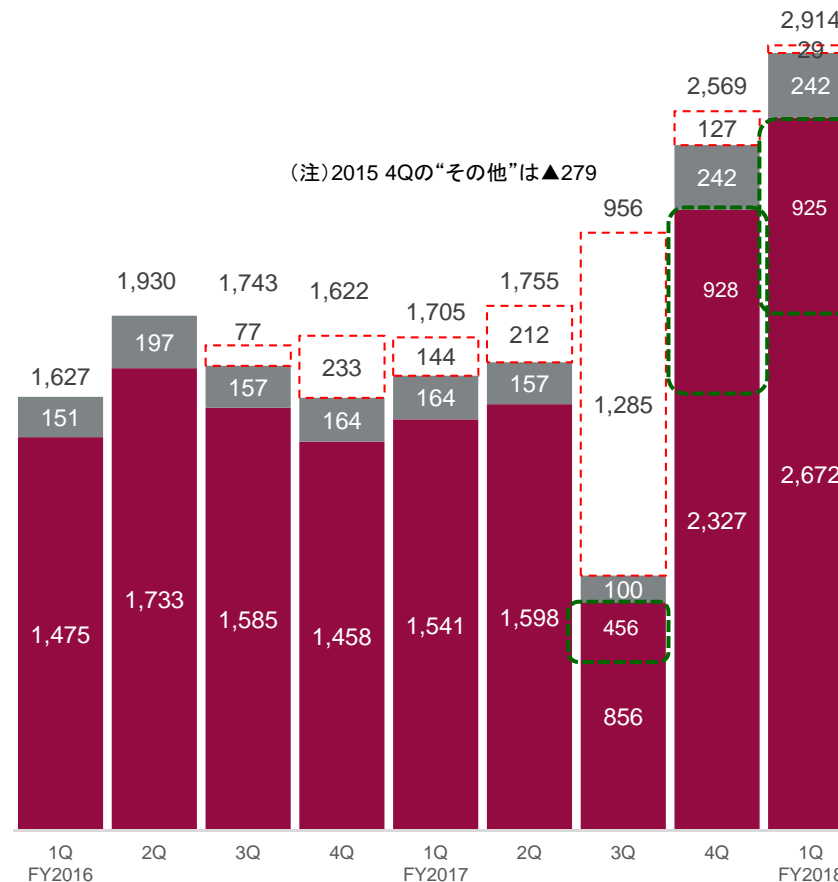
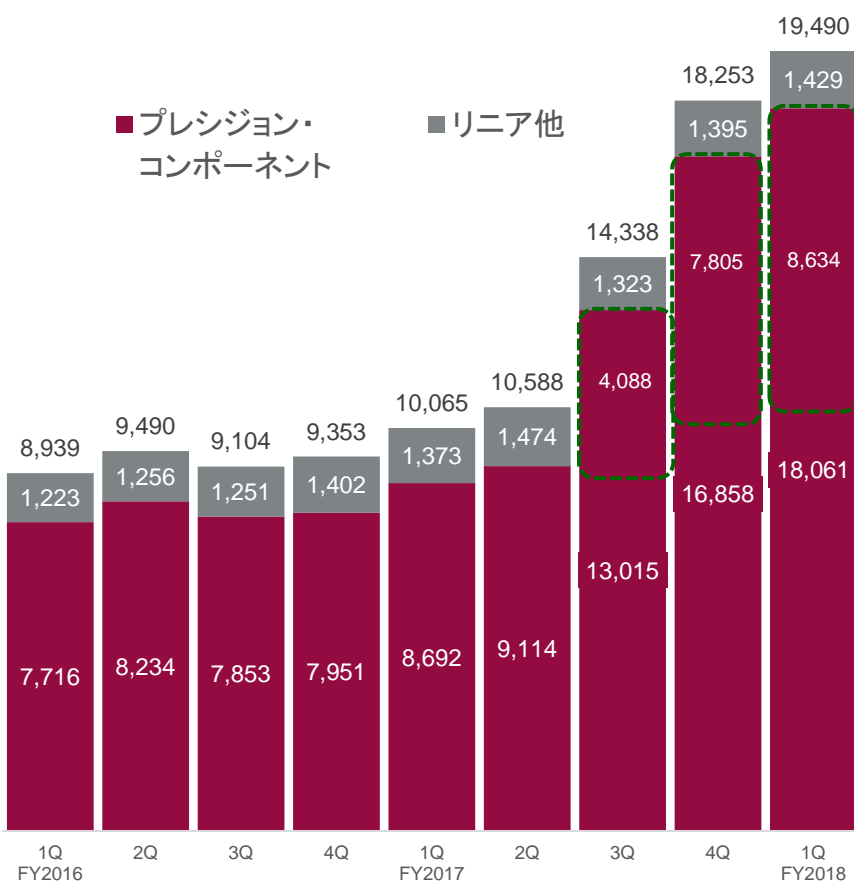


# 四半期グループ連結業績推移

四半期売上収益(対2017年4Q 6.8%増)及び営業利益(対2017年4Q 13.4%増)はともに過去最高を更新

### 売上収益推移(百万円)

### 営業利益推移(百万円)



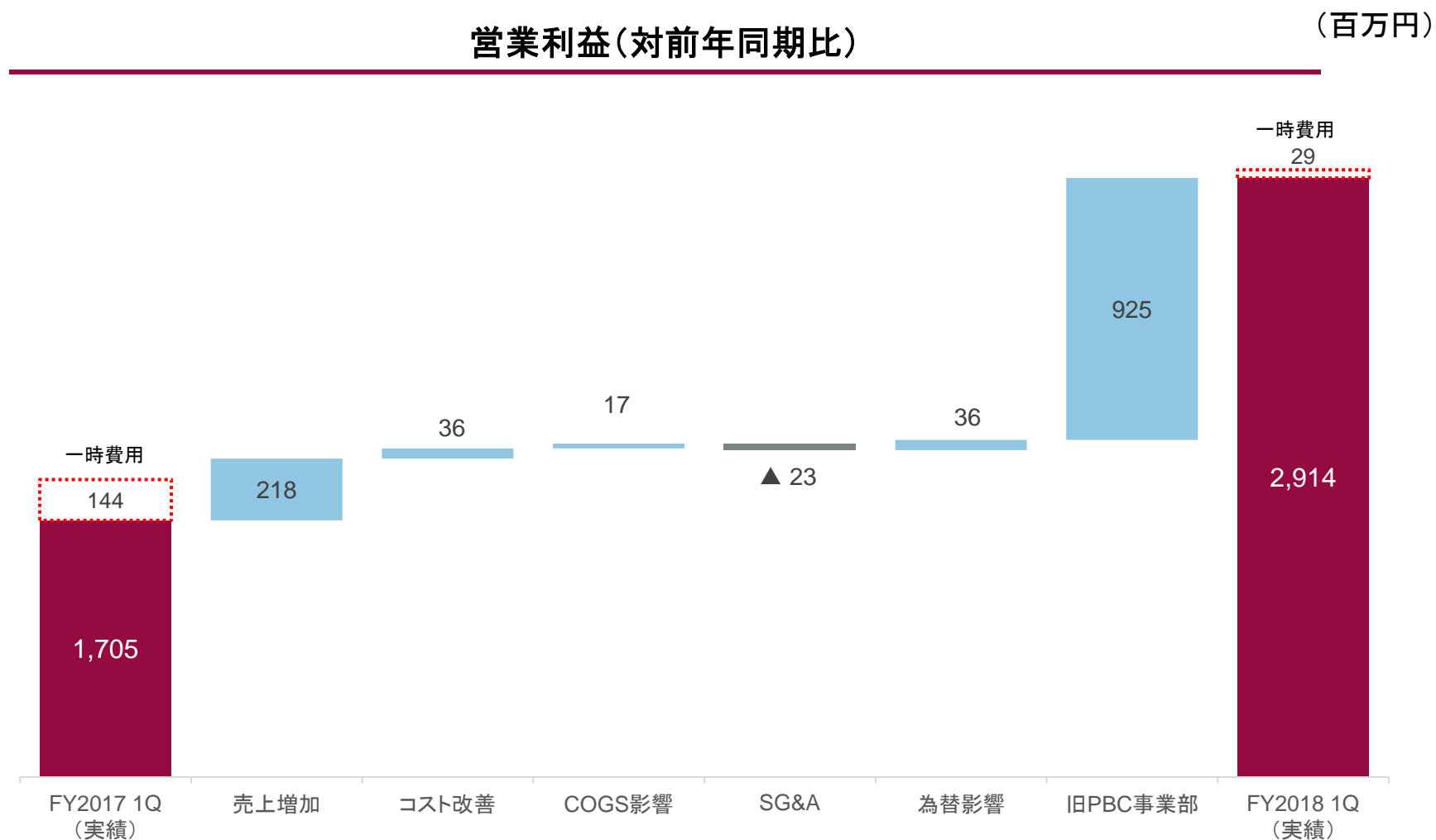
緑点枠線は、旧PBC事業部業績を表示

赤点枠線は、一時調整費用を表示



# 2018年12月期第1四半期営業利益増減要因分析

営業利益は、前年同期比70.9%増の29億円を達成



(※)一時費用として、2017年1Qは主に“旧PBC事業部買収関連費用”、2018年1Qは“外部調査員会関連費用等”を計上しております。

# 2018年12月期第1四半期セグメント別売上収益 前年同期との比較



プレジジョン・コンポーネントセグメントは前年同期を大幅に上回り、過去最高の売上収益を達成

	2017年 1Q	2018年 1Q (百万円)			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
グループ連結	10,065	19,490	228	9,197	91.4%
プレジジョン・コンポーネントセグメント	8,692	18,061	225	9,144	105.2%
リニア他セグメント	1,373	1,429	3	53	3.9%

- ・プレジジョン・コンポーネントセグメントは産業用精密ボール、精密ローラー、精密スタンピング部品等のセグメントです。
- ・旧PBC事業部の売上収益 8,634百万円はプレジジョン・コンポーネントセグメントに含まれております。
- (※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。



# 2018年12月期第1四半期地域別売上収益 (プレジジョン・コンポーネントセグメントのみ)前年同期との比較



プレジジョン・コンポーネントセグメントにおける地域別売上収益においては既存ビジネスの成長に加え、旧PBC事業部の買収効果により、欧州、北米、アジアで大幅に成長

	2017年 1Q	2018年 1Q (百万円)			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
日本	3,062	3,312	—	250	8.2%
北米	1,514	3,760	▲82	2,328	153.7%
欧州	1,713	7,696	200	5,783	337.5%
アジア	2,403	3,293	107	783	32.6%

2018年1Q実績には、PBC事業部の売上収益が北米 2,132百万円、欧州 5,659百万円及びアジア 843百万円含まれております。  
(※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。

# (ご参考) 2018年12月期第1四半期地域別売上収益 前年同期との比較



	2017年 1Q	2018年 1Q (百万円)			
	実績	実績	為替換算 影響	増減額 (※1)	増減比 (※1)
日本	4,336	4,577	—	241	5.6%
北米	1,514	3,760	▲82	2,328	153.7%
欧州	1,713	7,696	200	5,782	337.5%
アジア	2,502	3,457	109	846	33.8%

2018年1Q実績には、PBC事業部の売上収益として北米に 2,132百万円、欧州に 5,659百万円及びアジアに 843百万円含まれております。  
(※1) “増減額”及び“増減比”は為替換算影響を除いております。

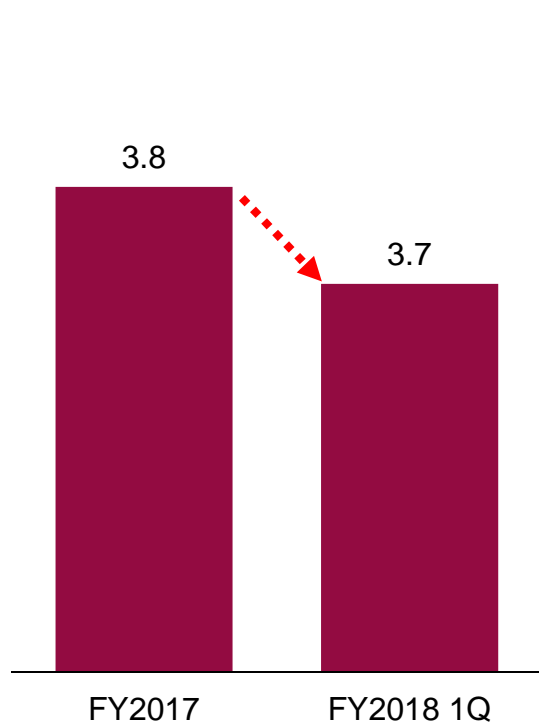


# BS／CFにおける業績

バランスシートの適正コントロールに継続して取り組む

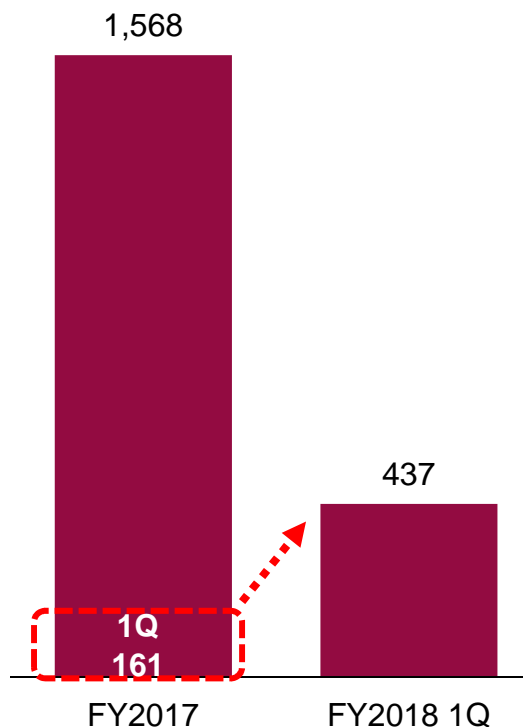
## 棚卸資産回転月数(月) (※1)

■ 在庫回転率の向上



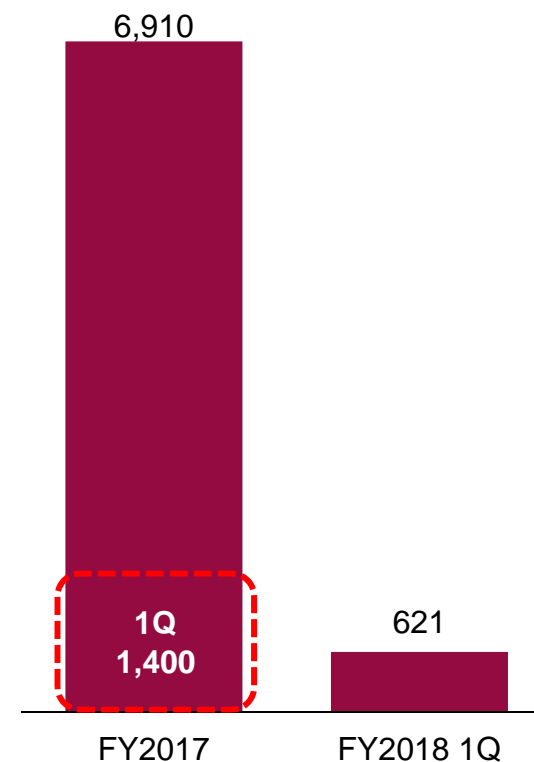
## 設備投資額(百万円) (※2)

■ 生産能力強化により設備投資が増加



## 調整後FCF(百万円) (※3)

■ 急激な販売増により売掛金増加、2Q以降減少しFCF増加見込み



(※1) 2017年度のPBC事業部の売上収益は4.5ヶ月分として加重平均により算出

(※2) PBC事業部の設備投資として、2017年 263百万円(4.5ヶ月分)、2018年170百万円を含みます。

(※3) 2017年の調整後FCFには、PBC事業部取得に伴う44,053百万円及び一時支出等1,560百万円、2018年1Qには、外部調査委員会関連費用等29百万円を除いて表示しております。

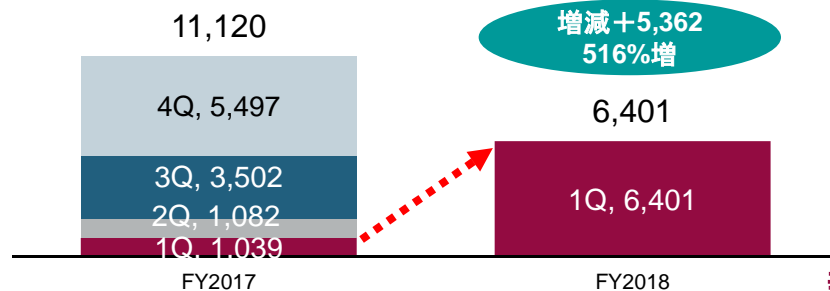
# 2018年12月期第1四半期 4(既存)+2(新規)の販売戦略進捗



販売戦略イニシアティブの進捗は、既存ビジネスでの成長に加え旧PBC事業部の買収効果により、大きく進捗

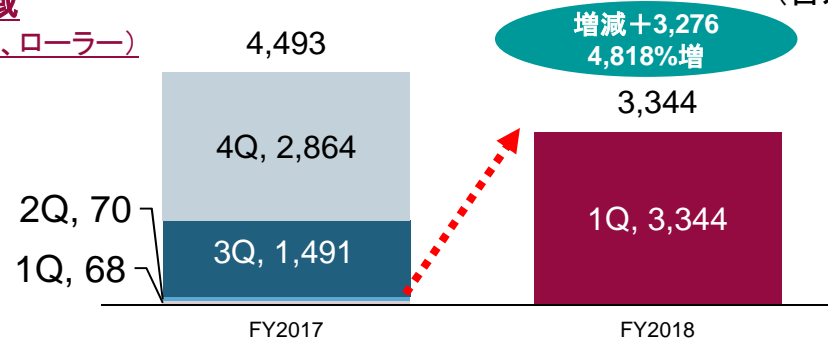
(百万円)

## 海外のお客様

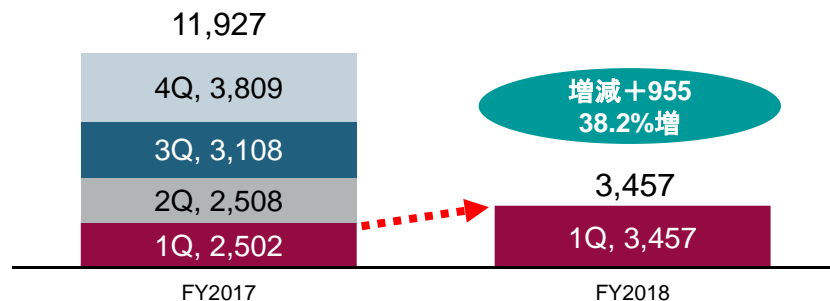


## 新領域

(ガラス、ローラー)

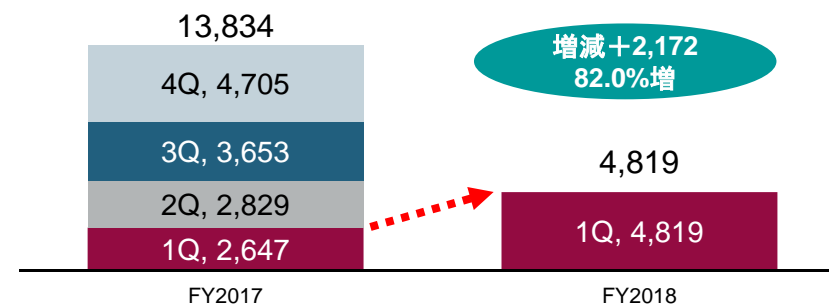


## アジア市場

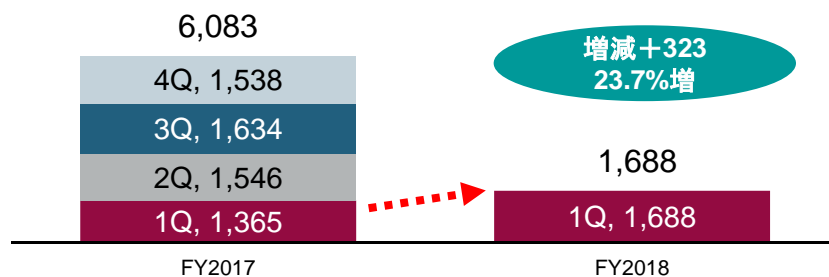


## 新イニシアティブ

(日系/非ベアリングの合算)



## セラミックボール



※上記グラフには下記のPBC事業部売上収益を含みます。

PBC事業部	2017 3Q (1.5か月)	2017 4Q	2018 1Q
海外のお客様	2,376	4,456	5,175
アジア市場	562	1,028	843
新領域(ローラー)	1,468	2,803	3,192
新イニシアティブ	766	1,680	1,843



## 免責事項

本プレゼンテーション資料は、本プレゼンテーション資料の日付現在において有効な経済、規制、市場及びその他の条件に基づいており、当社は本プレゼンテーション資料の情報が正確又は完全であることを保証するものではありません。今後の動向が本プレゼンテーション資料に含まれる情報に影響を与える可能性があります。当社は本プレゼンテーション資料に含まれる情報を更新、改訂又は確認する義務を負いません。本プレゼンテーション資料に含まれる情報は、事前に通知することなく変更されることがあり、当該情報の変更が重大なものとなる可能性もあります。本プレゼンテーション資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、公開又は利用することはできません。

本プレゼンテーション資料には、1995年米国私的証券訴訟改革法上の将来予想に関する記述を構成する記載(推定値、予想値、目標値及び計画値を含みます)が含まれております。当該将来予想に関する記述は、将来の業績について当社の経営陣が保証していることを示すものではありません。当社は、将来予想に関する記述を特定するために、「目指す」、「予測する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」等の用語及びこれらに類似する表現を使用する場合があります。また、将来予想に関する記述は、戦略、計画又は意図に関する議論により特定可能な場合もあります。本プレゼンテーション資料に記載されている将来予想に関する記述は、当社が現在入手可能な情報を勘案した上での、当社の現時点における仮定及び判断に基づくものであり、既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因を含んでいます。当該リスク、不確実性その他の要因により、当社の実際の業績又は財務状態が、将来予想に関する記述により表示又は示唆されている将来の業績又は財務状態から大きく乖離する可能性があります。

当社以外の会社又は当事者に関連する情報又はそれらにより作成された情報は、一般的に入手可能な情報及び本プレゼンテーション資料で引用されているその他の情報に基づいており、当社は、当該情報の正確性及び適切性を独自に検証しておらず、また、当該情報に関して何らの保証もするものではありません。